

つなぐ認定こども園自己評価

令和6年度

【記入方法】 A:大変よい B:よい C:一部検討 D:改善を要す
項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

◎保育計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育理念	(1) 保育理念が文書で記載されているか。	○				・いつでもすぐ見れるように、園しおりを全職員に配布。会議等でクイズ式の質問をするなど、身近に感じられるようにした。
	(2) 保育理念・保育目標から目指す方向、考え方を読み取ることができるか。	○				
保育目標について	(3) 目標は、地域の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				特色ある保育を更に活かせるように、見直しやメンテナンスを行い、子どもたちの「楽しい」をより引き出せるようにしている。
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
	(6) 保育計画の作成には職員が参加している。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行で良いか。	○				前期・後期で流れが変更になる為、2枚作成しクラスに記載、効率的に保育・業務に取り組めるようにしている
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				保護者のアンケートより、全体で一斉に行う行事も見てみたいという声に寄り添い、令和7年度運動会を、村民体育館で行う予定である。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動しているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。アンケートの実施等	○				
食育について	(1) 乳児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	○				・乳児の離乳食も展示にくわえた事で、より保護者の関心を引いている。 ・アレルギー児対応給食を工夫し取り入れる事で全員が同じ空間で楽しい食事を感じられるように、食育に繋がっている。
	(2) 落ち着いた環境で楽しく食事が出来るよう工夫している。	○				
	(3) 食事の状況に基づき調理内容を改善している。	○				
	(4) アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子供に対し、主治医からの支持を得て、適切な対応を行っている。	○				
	(5) 間違いがないよう個別のプレートやトレーなどで分け、調理師同士や保育士と確認している。	○				
	(6) 保護者の申し出により、個別に対応している。	○				
衛生	(7) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されているか。	○				・マニュアルに基づきチェック表で実施している。 ・故障など直ぐに対処し衛生管理に努めている。
	(8) 水回りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒などの発生時に対応出来るような危機管理体制が整備されている。	○				

◎保育計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育について	(1)指導計画は各年齢の子どもの発達の実態に即して作成しているか。	○				・クラスだけでは解決出来ない事は全体でも共有し工夫している。また、支援児会議を定期的に行い、全体で把握していけるように進めているところだす。
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫し、行っているか。	○				
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
	(6)一人ひとりの子どもの発達状況、生活状況についての記録がある。	○				
	(7)一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、保育の実施について話し合うためのケース検討を必要に応じて実施している。	○				
	(8)子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持ちを受け止めた適切な対応をしている。	○				・園外保育以上に園の特色ある環境を活用できるように、リーダー会などで再確認し、保育に活かせるようにしている。 ・子どもの主体性を発揮できるように、3・4・5歳児合同で、自由に行き来できる日を設定する計画を進めている。
	(9)子ども様々な活動を自由に体験出来るような環境が整備されている。	○				
	(10)身近な生活体験の中で、命の大切さや季節感など、豊かな感性を育むよう配慮している。	○				
	(11)身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。	○				
	(12)絵本の読み語りや紙芝居などを積極的に取り入れている。	○				
	(13)順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	○				
	(14)保護者の理解のもと、障害を持つ子の関係機関、医療機関などとの連携を図り、必要に応じて助言・援助を受けている。	○				
	(15)虐待等がないか普段の保育の中で、把握し行政との連絡がとれるようにしている。	○				

◎保育計画の編成と実施に関する評価

項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	職員意識・行動	(1)法人の職員としての自覚を持ち行動しているか		○			・楽しい職場作りとして園Tシャツの揃えたり、
		(2)職務内容の遂行(報告・連絡・相談・書類管理)ができていますか		○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。	○				
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	(1)各会議を適切かつ合理的に進めているか。	○				・時間内に密に会議が取り組めるよう、また会議内容を全体で把握できるように、毎回紙媒体で配布している。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
		(3)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	○				
		(5)守秘義務の遵守を全職員に周知している。	○				
	年齢別・クラス経営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や教育目標に基づいて設定しているか。	○				・チームで話し合った事を会議などで全体に伝える事で共通理解し次につながるようにしている。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳児実態に即して設定しているか。	○				
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5)意欲的な活動へと結びつく環境設定ができているか	○				
		(6)評価・資料(諸記録)を集積しているか。	○				
		(7)基本的な生活習慣の取得のための適切な支援や情緒の安定に関しての共通理解と支援ができている。	○				
	保健・安全指導	(1)危機管理マニュアルに基づいて乳幼児の安全管理を行っている。	○				・園内外での事故も身近に感じながら会議で取り上げ、安全予防に徹底している。 ・不審者訓練をするなかで防犯の対応を充実させていけるよう、職員に発信しながら取り組んでいる。
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3)緊急時に慌てず、対応できるよう、医療機関等の連絡先を表示している。	○				
		(4)外部からの侵入に対する対応を実施している。	○				
		(5)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(6)乳児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
		(7)マニュアルに基づき、保護者への感染症の予防策及び対応について周知している	○				
研究・研修	園内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○				・職員を講師に設定し、研修報告会をしたり、興味ある内容を園内研修に取り入れ、また参加出来なかった職員も内容を把握できるように、YouTubeで全職員に動画配信している。
		(2)園内研修の計画・運営は適切か。		○			
		(3)研究の成果を日常にいかし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
		(4)研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○				
	研 修 外	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				
	研修	(1)各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○				

◎保育計画の編成と実施に関する全体評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				・園だよりやクラスだよりの他にイロドリリンク(連絡帳・日誌・保護者・職員への連絡通信)やインスタグラムなどで情報を共有している。
	(2)あらかじめ年間行事の日程を知らせ、保護者が参加できる予定を立てやすくしている	○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
	(4)「園だより」・「クラスだより」・「ホームページ」など定期的に発行し、更新しているか。	○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・施設内外の安全点検を毎日行っている。 ・全体で声を掛け合い室内、外を清潔に保てるようにしている。 ・動植物や果実など観察できる環境を作り、収穫し頂いたり、園の特色として発信している。(オオゴマダラ・桜・サガリバナ・ゆり・バナナ等)
	(2)遊具・用具などを、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3)不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	○				
	(4)掲示板、掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか。	○				
	(5)園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している。	○				
	(6)生活の場面にあった保育者の声、音楽などに配慮している。	○				
	(7)園内に、子ども達が季節感を味わえるような工夫をしている。	○				
開かれた保育園づくり	施設間交流・連携	(1)小学校との年間交流計画は、保育目標や教育目標、課題に沿ったものになっている。		○		・小学校の行事に参加したり、会議に参加するなど、交流を図っている。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことが出来るよう配慮や援助・支援を行っているか。		○		・卒園児が訪ねてくる事もあり、声を掛け、情報を得ながら卒園後の見守りとしている。
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○		・近隣保育科の学生さんの授業の一環であるイベントを、披露してもらい環境を構成し、保育士育成と子ども達も楽しく充実感を味わえるよう配慮している。
		(4)参観やお招き会等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○			
		(5)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	○			
	家庭・地域社会との連携	(1)子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	○			・年2回 子育てサロンで地域の方々と交流を持ち子育て支援に繋げている。
		(2)医療機関、児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	○			・交通安全指導では、全クラス参加し、貴重な体験と交流の場となった。
		(4)保育園の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかけるなど、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している。	○			